



公開ヒアリング実施状況

1-4 広報紙等への有料広告掲載等による自主財源の確保 (財政課、広報広聴課、図書館)

区分	内容
基本方針	3 財政運営の自律性・健全性の確保
重点推進項目	⑫ 市税の確実な収納と自主財源の確保
取組項目	1. 広報紙への有料広告掲載など (効果目標等：有料広告掲載（広報とよはし）3,780,000円) 2. 中央図書館、美術博物館、自然史博物館などのホームページへバナー広告掲載など (効果目標等：広告料収入 198,000円)
各委員のコメント	<ul style="list-style-type: none">○ 行政が広告を出すことについては、まだ確かに抵抗感があると思うが、市民にとって有益な広告もあるはずなので、その点を踏まえて発展させていくべきである。○ 各施設で活用できるものがあれば、さらに導入できるはず。期待している。○ 行政が自主財源の確保に対し、様々に工夫して取り組むようになった点が評価できる。○ 行財政改革の全体像から見ると金額的にも少額であるが、自主財源の確保という面から評価できる。ホームページの売り込みといった企業へのアプローチは、その業務に精通した課が取りまとめて対応すれば効率もあがると思われる。事業全般については、市民からも厳しい意見をいただいたので、真摯に受け止めて、行財政評価全体に活かしていかなければならない。反省としたい。
市民意見	評価の仕方については、広告を出した企業等の関係者の評価を入れて評価すべきである。そうした形で公表しなければ、評価の意味がない。従前の評価のように、市からの一方的な、成果だけを誇張した評価であってはならない。